



写真／吾妻小富士  
(福島市)

公益社団法人  
福島県トラック協会 広報誌

# トラックだち

2021年

04

vol.483

## 県ト協

### 令和2年度 セーフティチャレンジ副賞 抽選会を実施

#### 14 全ト協

- ◆令和3年春の全国交通安全運動

#### 10 全ト協・県ト協

- ◆令和3年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度のご案内

#### 02 県ト協

- ◆福島県のプロスポーツ4チームに協賛しました!
- ◆令和2年度第6回理事会を開催
- ◆令和3年度各種助成事業一覧
- ◆第3回交付金委員会を開催
- ◆ドライバー等安全教育訓練促進助成制度の対象研修施設にドライビングアカデミー南湖(南湖自動車学校)が追加されました

#### 09 支部

- ◆支部だより

#### 08 青年部会

- ◆青年部会が役員会を開催

#### 07 お知らせ

- ◆事業報告書、事業実績報告書について

#### 05 福興協

- ◆東北運輸局が福島復興支援輸送協同組合に感謝状を授与

#### 08 トピックス

- ◆郡山運送(株)が「就職氷河期世代の方向けの短期資格等取得コース事業」の職場体験会を開催
- ◆自動車安全運転センターが会員事業所を表彰

トラックは生活と  
経済のライフライン



# 県ト協 福島県のプロスポーツ4チームに協賛しました!

県ト協が福島県に拠点を置くプロスポーツチーム「福島ユナイテッドFC」（サッカーJリーグ）、「福島レッドホープス」（野球BCリーグ）、「福島ファイヤーボンズ」（バスケットボールBリーグ）に加え新たに、「いわきFC」（サッカーJFL）に協賛しました。

県ト協では、各プロスポーツチームの応援を通じてトラック運送業界の認知度向上及び業界イメージアップに向けて様々な取り組みを行い、各チームと連携し共に福島を盛り上げていきます!



提供:福島ユナイテッドFC



提供:福島レッドホープス



提供:福島ファイヤーボンズ



提供:いわきFC

## CONTENTS

全ト協	令和3年春の全国交通安全運動.....	14
全ト協・県ト協	令和3年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度のご案内.....	10
県ト協	福島県のプロスポーツ4チームに協賛しました!.....	2
	令和2年度セーフティチャレンジ副賞抽選会を実施.....	3
	令和2年度 第6回理事会を開催.....	4
	令和3年度各種助成事業一覧.....	6
	会員だより.....	7
	第3回交付金委員会を開催.....	8
	ドライバー等安全教育訓練促進助成制度の対象研修施設にドライビングアカデミー南湖(南湖自動車学校)が追加されました...	12
	4月の行事予定.....	16
	人事異動.....	16
支部	支部だより.....	9
青年部会	青年部会が役員会を開催.....	8
陸災防	第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催.....	12
	技能講習等実施予定.....	16
お知らせ	事業報告書、事業実績報告書について.....	7
	交通事故統計.....	16
福興協	東北運輸局が福島復興支援輸送協同組合に感謝状を授与.....	5
トピックス	郡山運送株が「就職氷河期世代の方向けの短期資格等取得コース事業」の職場体験会を開催...	8
	自動車安全運転センターが会員事業所を表彰.....	9

# 県ト協 令和2年度セーフティチャレンジ副賞抽選会を実施

当協会が実施するセーフティチャレンジ副賞抽選会を3月4日(木)に福島市「福島研修センター」において実施した。

セーフティチャレンジとは各年齢層のドライバーが3人1組でチームを結成し、日常生活の中で無事故・無違反を目指すことにより、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図ることが目的。今回の副賞抽選は、(一社)福島県交通安全協会とは別に当協会に参加の報告があり、福島県交通安全協会の本抽選(県ト協会員当選80チーム)から漏れたチームを対象として実施している。

令和2年度は参加チームが1,913チーム、抽選対象チームが1,650チームで、当選者は下記のとおり。なお、1等から3等までの賞品はクオカードで1等は1人1万5千円分が贈呈される。

応募事業所(協会に報告のあった事業所)	185事業所
参加チーム	1,913チーム
抽選対象チーム	1,650チーム

賞品	1等	クオカード(1人15,000円)
	2等	クオカード(1人6,000円)
	3等	クオカード(1人3,000円)

## 令和2年度セーフティチャレンジ副賞当選者一覧

No.	支部名	所属会社	リーダー名	No.	支部名	所属会社	リーダー名			
1等	県北	(株)サンビルド	紺野 富治様	3等	県中	日本郵便輸送(株)東北支社郡山営業所	菅野 礼子様			
		(株)吉田運輸	佐藤 孝博様			拓進運輸(株)	本田 三好様			
	県中	高田運輸(株)	溝井 珠希様			拓進運輸(株)	伊藤 和博様			
		郡山運送(株)郡山支店	猪狩 徳則様			野口運輸(株)本宮営業所	尾高 直人様			
	県南	常磐郵便輸送(株)	原田 利美様			中央運輸(株)郡山営業所	佐藤 貴之様			
		(有)佐川流通	佐川 一巳様			高田運輸(株)	筋内 富美男様			
	会津	第一貨物(株)会津若松支店	坂内 俊美様			郡山運送(株)郡山通運営業所	小林 寿恵様			
		相双	加藤建材工業(株)			酒井 秀正様	ヤマト運輸(株)郡山主管支店	三瓶 信彦様		
	2等	県北	磐城通運(株)植田支店			緑川 紀彦様	3等	県南	ヤマト運輸(株)郡山主管支店	渡邊 淳様
			福島運送(株)			武藤 和彦様			ビジネスサポート(株)	三塚 和宏様
県中		塩釜陸運(株)福島営業所	安藤 祐司様	(株)久留米梱包運輸	前田 克博様					
		(株)福島北桑運輸	鈴木 平治様	(株)シーエス	鳥居 富士雄様					
県南		東北王子運送(株)福島営業所	渡部 裕司様	J X 金属高商(株)	伊東 芳一様					
		日本通運(株)郡山支店	堀田 美佐子様	(有)丸信運輸	深谷 隆信様					
会津		(有)フクコー運輸	齋藤 隆利様	(株)マヒコ	中村 一美様					
		相双	(株)アイピーエスサービス	三瓶 貴志様	(有)内山急送	渡辺 昇一様				
3等		県北	野口運輸(株)本宮営業所	三浦 弘幸様	3等	会津			須賀川陸運(株)	東ヶ島 政彦様
			郡山観光運輸(株)	椎根 啓記様					小田川運輸(株)	吉成 清樹様
	県南	鈴木運送(株)	矢田部 涼太様	小田川運輸(有)			藤井 建瑠様			
		(株)シーエス	鈴木 勝美様	八溝運輸商事(株)			鈴木 義臣様			
	会津	レンゴロジスティクス(株)福島営業所	戸田 昭浩様	東北ボール運送(株)			佐藤 久志様			
		金彰運送(有)	柳田 貴様	東石通運(株)			菊地 弘幸様			
	相双	会津本郷貨物運送(株)	井手 亮様	會津通運(株)			猪俣 理恵様			
		双葉運送(株)	熊 孝一様	會津通運(株)			渡部 隆司様			
	3等	県北	福島第一物流(株)相馬営業所	佐藤 広光様			3等	相双	(有)小瀧運送店	古川 福喜様
			(有)横山物産	三浦 俊一様					(有)星建材運輸	湯田 良樹様
県中		安立サービス(株)いわき営業所	吉田 茂雄様	(株)ジャスト会津営業所	後藤 善一様					
		平共立運送(株)	柴田 一様	マルト建設(株)	渡部 恭弘様					
県南		福島倉庫(株)	紺野 剛様	(株)しもごう環境サービス	福本 幸江様					
		福島運送(株)	二瓶 貴大様	丸佐運送(有)	秋山 豊様					
会津		霜山砕石工業(株)	菅野 貴宏様	(有)佐藤商事運輸	渡部 正人様					
		スナエキスプレス(株)	鈴木 登様	福島ロジネット(株)会津営業所	小林 恵仁様					
相双		(株)WORKERS	三浦 光寛様	郡山観光運輸(株)会津営業所	渡部 佳弘様					
		(株)ジャスト福島支店	田中 憲一様	浪江貨物自動車(株)	佐藤 浩史様					
3等	県北	(株)丸や運送	佐藤 吉信様	3等	相双	双葉運輸(株)	志賀 憲子様			
		安達運輸(株)	安斎 公夫様			加藤建材工業(株)	松本 信繁様			
	県中	(有)えび屋	齋藤 一昭様			日通相馬港運輸(株)	坂脇 裕高様			
		(有)にどの運送	阿部 和夫様			青葉運輸(有)	渡邊 恭司様			
	会津	(株)タケダ	高野 昇様			(有)原眞運輸	高野 清様			
		千野運輸(株)福島営業所	小池 正昭様			丸カ運送(株)	齋藤 和彦様			
	相双	(株)帝北ロジスティクス 第一事業部	佐藤 愛真様			丸カ運送(株)	角田 伸吾様			
		伊達貨物運送(株)	酒井 良晃様			新地発電産業(株)	志賀 聡様			
	会津	小林運輸(株)	小林 フサ子様			新地発電産業(株)	天野 佑哉様			
		(株)タムラ	本田 英夫様			(株)ショウワ・トランスポート	岩崎 孝夫様			
3等	県北	(株)ユタカ輸送	桐原 大晃様	3等	相双	昭和運輸(株)	横山 了一様			
		三菱電機ロジスティクス(株)郡山分室	我妻 芳幸様			昭和運輸(株)	山本 淳一様			
	県中	(株)昭和運送店	根本 寿美枝様			磐城通運(株)	野崎 喜一郎様			
		(株)大玉運送	藤田 二郎様			磐城通運(株)湯本支店	北郷 秀一様			
	会津	(株)大玉運送	武田 正幸様			新富運輸(株)	清水 武史様			
		郡山第一運送(株)	加藤 敏明様			いわきカーゴ(株)	鈴木 義男様			
	相双	(株)らくのう乳販	鈴木 友徳様			東北誠和梱包運輸(株)いわきロジスティクスセンター	安斎 留美子様			
		(株)伊藤運輸	森田 弘幸様			遠野運送(株)	土手内 隆志様			
	会津	郡山宅配運輸(有)	國分 史陽様			いわき大王紙運輸(株)	岡部 嘉男様			
		熱海運送(株)	市橋 一紀様			三つ山運送(株)	坂本 隆浩様			
相双	熱海運送(株)	國分 伸子様	郡山運送(株)いわき営業所	鳥居 健志様						
			(株)ジャストいわき店	鈴木 勝一様						
			岡田陸運(株)	草野 徹様						

## 県ト協

## 令和2年度第6回理事会を開催

福島県トラック協会 令和2年度第6回理事会が3月25日(木)に郡山市「県中研修センター」において、理事27名、監事3名が出席し開催された。

## ○報告事項

- 1 「全ト協表彰規程による表彰」並びに「正しい運転・明るい輸送運動の表彰受賞者について
- 2 東北トラック協会連合会「大規模災害等における相互応援に関する協定書」について
- 3 令和2年度運輸事業振興助成交付金特別会計変更予算について
- 4 健康経営優良法人2021(中小企業法人部門)認定について
- 5 福島県沖を震源とする地震対応について

## ○議 題

- 1号議案 令和3年度事業計画(案)について
- 2号議案 令和3年度公益法人定期提出書類事業計画書等(案)について
- 3号議案 令和3年度予算書(正味財産増減計算書)(案)について
- 4号議案 令和3年度各種助成事業一覧(案)について
- 5号議案 令和3年度定時総会の対応について
- 6号議案 総務委員会答申について
- 7号議案 令和3年度優良従業員被表彰者の推薦について
- 8号議案 入会会員及び退会会員について
- その他 今後の行事予定について

## 【報告事項】

- 報告事項の1 「全ト協表彰規程による表彰」受賞者について、令和3年3月11日開催の全ト協「第189回理事会」において、全ト協表彰規程による表彰(感謝状受賞者1名、表彰受賞者8名)正しい運転・明るい輸送運動表彰受賞者(従業員表彰者2名、事業所・団体受賞1事業所)が決定したことを報告した。  
※表彰式は令和3年度福島県トラック協会定時総会にて実施。
- 報告事項の2 東北トラック協会連合会常任理事会において、東北管内6協会会長名による「大規模災害等における相互応援に関する協定書」が締結したことを報告した。
- 報告事項の3 令和2年度運輸事業振興助成交付金特別会計変更予算(第1号)について令和2年の収入及び支出等に関する変更予算を、東北運輸局、福島県に対し提出し、承認されたことを報告した。
- 報告事項の4 健康経営優良法人2021認定について、県ト協として中小企業法人部門に本年3月4日に認定されたことを報告した。

報告事項の5 令和3年2月13日(土)に発生した福島県沖を震源とする地震の対応について報告した。4日に認定されたことを報告した。

## 【議 題】

- 1号議案 令和3年度事業計画（案）について  
主な事業計画案について提案し可決された。
- 2号議案 令和3年度公益法人定期提出書類事業計画書等（案）について  
公益社団法人法に基づき、福島県への定期提出書類について提案し可決された。
- 3号議案 令和3年度予算書（正味財産増減計算書）（案）について  
令和3年度予算計算書（案）について、提案し可決された。
- 4号議案 令和3年度各種助成事業一覧（案）について  
令和3年度の助成事業予算額等を提案し可決された。  
※令和3年度各種助成事業一覧については6ページ参照
- 5号議案 令和3年度定時総会の開催について  
令和3年度定時総会を令和3年6月10日(木)、いわき市「ワシントンホテル椿山荘」で開催する旨及び、議事内容等について提案し可決された。
- 6号議案 総務委員会答申について  
令和3年3月10日(水)に開催した第2回総務委員会答申について報告し可決された。
- 7号議案 令和3年度優良従業員被表彰者の推薦について  
令和3年度 県ト協会優良従業員表彰について、各支部より推薦のあった101名について表彰受賞を提案し可決された。  
※表彰式は令和3年度福島県トラック協会定時総会にて実施。
- 8号議案 入会会員及び退会会員について  
4社の入会が可決された。（承認後会員数1,273（賛助会員277含む））
- その他 今後の行事予定について  
県ト協本部及び各支部における予定を説明した。

## 福興協

## 東北運輸局が福島復興支援輸送協同組合に感謝状を授与

東北運輸局による東北運輸局特別表彰感謝状の贈呈式が3月8日(月)に仙台市 仙台第4合同庁舎にて執り行われ、贈呈式には右近理事長、荒川専務理事が出席し福島復興支援輸送協同組合に感謝状が授与された。

今回の東北運輸局特別表彰は、福島第一原子力発電所事故により発生した福島県内の除染廃棄物を中間貯蔵施設等へ安全かつ安定的に輸送し、震災からの復興に貢献した功績が称えられたもの。



【感謝状を手にする右近理事長、荒川専務理事】

# 県ト協 令和3年度各種助成事業一覧

※4月1日より助成開始

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額等	2020予算額 (千円)
交通安全対策事業費	1 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	670円/人・年(上限)	1事業者 150人上限 (1人 年1回限度)	6,968
	2 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,400円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	13,960
	3 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1事業者50人まで	3,740
	4 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に検査費用の助成	20,000円/人	一人年1回	500
	5 脳ドック受診	運転手(40才以上)の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人・年(上限)	1事業者 15人まで	2,000
	6 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 全額 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1事業者 10人まで	2,000
	7 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1事業者 15台上限	22,000
	8 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携型 40,000円(20,000円) 標準型 20,000円(20,000円) 簡易型 10,000円(10,000円) ※( )書きの金額は、国の補助金を受けた場合	1事業者 15台上限	21,000
	9 安全装置	後方・側方視野確認支援装置、呼気吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	各々装着時:37,000円/台 後方・側方視野確認支援装置の同時購入装着時: 50,000円/台 ※側方視野確認支援装置は車両総重量7.5トン以上	1事業者 15台上限	14,000
	10 フォークリフト技能講習受講料	陸上防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		600
	11 衝突被害軽減ブレーキ装着車導入	中型車を対象に、中小企業者が衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	取得価格の1/2 100,000円/台上限	1事業者 3台上限	3,500
	12 準中型・中型・大型免許助成	従業員に準中型、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人上限 中型免許(二種は除く) 75,000円/人上限 大型免許(二種・特殊は除く) 150,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限 準中型限定解除 20,000円/人上限	1事業者50万円上限	26,000
	13 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,500円/人・年(上限)	車両台数×1.2上限	12,000
	14 血圧計	中小企業事業者が全自動血圧計の導入に要した経費に対する助成	1台 70,000円	1事業者 2台	1,400
	15 女性用休憩施設等整備	女性及び高齢者の従業員用の休憩室、トイレ等の増改築経費に対する助成	工事経費の1/2(上限300,000円)	1事業者 1施設 年度内1回(本社及び営業所含)	3,500
交通公害対策費	16 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚(上限) エア・温水式ヒーター 60,000円/基(上限) 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基(上限) 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー/デンソー、UD、日野) 50,000円/基(上限) 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基(上限)	電気式の毛布・マット・ベッド30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基	11,000
	17 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 20,000円 中型 新車 40,000円 大型 新車 60,000円 ※ONG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	1事業者 15台	21,000
	18 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	2,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	1事業者 150本	22,000
研修・調査事業費	19 中小企業大専校	中小企業大専校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		190
	20 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で事業者につき取得・更新のどちらか1回)	1,500
基金運営事業費	21 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 " 0.3% 環境対応車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員3千5百万 ポスト新長期 1会員7千万 低公害車等 1会員3千5百万	4,592
	22 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	1,500
	23 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限年度内 200,000円	5,000
	24 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利率の0.8% (3年間)		4,000
適正化事業費	25 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,500円/人・年 基礎講習 5,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	3,500
計					207,450

# お知らせ 事業報告書、事業実績報告書について

貨物自動車運送事業報告規則により、毎事業年度における営業活動の状況を報告する「事業報告書」と前年4月1日から3月31日までの1年間の輸送実績を報告する「事業実績報告書」の提出が必要となっております。

## 事業報告及び事業実績報告書の注意点

<b>事業報告書作成 3部</b> (1部は事業者控え) <b>協会提出部数 2部</b>	<b>事業実績報告書作成 3部</b> (1部は事業者控え) <b>協会提出部数 2部</b>
<b>★提出期限</b> 決算日より100日以内 (例 3月決算であれば7月10日まで) <b>※特定事業者の提出は不要です!</b>	<b>★提出期限</b> 7月10日 <b>★作成時の注意点</b> <u>決算日にかかわらず令和2年4月1日～</u> <u>令和3年3月31日までの実績を記入。</u> <b>※全事業者提出</b>

紙媒体での報告書様式送付は現在行っておりません。様式を入手するには、当協会ホームページ(会員専用ページ⇒各種の申請書・帳票)からダウンロード(様式はPDFまたはエクセルデータ)してください。

インターネット環境がない場合は、当協会にご連絡いただければ様式を送付いたします。

**問合せ先 024-558-7755**

## 会員だより

### 賛助会員退会事業所

支部	事業所名
県北	東北王子運送(株)福島営業所

### 会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
6	丸善運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	小野秀憲	小野光郎
9	郡山運送(株)福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	木村 康	阿部正和
9	東北乳運(株)福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	荒井 旭	菊池茂俊
16	(有)エスネット東北	事業者名	(有)エスネット東北	(有)高橋急送
25	磐梯貨物(株)郡山営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	蓬田義弘	大堀卓也
35	新潟運輸(株)白河支店	代表者 (支店・営業所代表者)	鈴木 勝	岩花 禎
47	ヤマト運輸(株)広野センター	代表者 (支店・営業所代表者)	堀井恭一	菅野淳一
48	(有)佐洋運輸	郵便番号 住 所	974-8261 いわき市植田町中央1-6-2第二坂本ビル201	966-0931 喜多方市上三宮町上三宮字池田1670-2
49	いわき大王紙運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	松原健三	高萩 進
50	いわき陸運(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	松原健三	高萩 進
57	新潟運輸(株)いわき支店	代表者 (支店・営業所代表者)	藤原秀幸	鈴木 勝
58	ヤマト運輸(株)いわき泉センター	代表者 (支店・営業所代表者)	菅野淳一	堀井恭一
58	ヤマト運輸(株)いわき植田支店	代表者 (支店・営業所代表者)	菅野淳一	堀井恭一
58	ヤマト運輸(株)いわき四倉センター	代表者 (支店・営業所代表者)	堀井恭一	菅野淳一

3月号わだち P5記載の会員だよりは下記の通り訂正させていただきます。



ページ	事業所名	変更事項	正	誤
9	日本通運(株)福島ロジスティクス事業所	代表者 (支店・営業所代表者)	大室晶彦	大室昌彦

## 県ト協 第3回交付金委員会を開催

今年度の第3回目となる交付金委員会が、3月5日(金)に委員7名が出席し郡山市「県中研修センター」において開催された。

菅野 高志 委員長のあいさつに続き、議事として、「令和2年度の運輸事業振興助成交付金特別会計変更予算案」、「令和3年度運輸事業振興助成交付金特別会計予算案」等について事務局より説明があり、今年度における交付金事業総括及び次年度に向けた諸課題について各委員による活発な協議が行われた。



## 青年部会 青年部会が役員会を開催



青年部会 (小野田 弘明 部会長) は3月15日(月)に郡山市「県中研修センター」において、今年度3回目となる役員会を開催した。

会議では、2月に開催した「物流交流事業」、「全ト協全国大会 (YouTube配信)」、「全体研修会 (WEBセミナー)」、「トラックの日フェスタ」について報告され、令和3年度定時総会、令和3年度東北トラック協会連合会青年部事務局の運営体制に関する協議が行われた。

## トピックス 郡山運送(株)が「就職氷河期世代の方向けの短期資格等取得コース事業」の職場体験会を開催

令和2年度より、全日本トラック協会が厚生労働省より委託を受けている「就職氷河期世代の方向け短期資格等習得コース事業」がスタートしている。

本事業は、いわゆる就職氷河期世代 (35歳～54歳) の求職者に対し、準中型・中型・大型のいずれかの免許取得とトラック運送業に関する基礎知識の講習等を無料で提供し、そのほか業界知識の習得 (座学講座等)、職場見学、職場体験等を組み合わせた「出口一体型」のプログラムとなっており、令和2年度から令和4年度まで実施することとなっている。さらには求人のあるトラック運送会社とのマッチングも行い正社員としての就職を支援するもので、トラック運送業界におけるドライバーの人材確保に寄与する事業となっている。



そのプログラムの中に、求職者が運送事業の業務を体験し知識等を習得することを目的とした「職場体験」のカリキュラムが設定されており、このカリキュラムには全日本トラック協会青年部会をはじめとした全国の青年組織 (当県では青年部会) が連携することとなり、当県では郡山市に本社を置く郡山運送(株) (小野田 弘明 社長/青年部会長) にご協力いただき、2月26日(金)に同社郡山支店において「職場体験会」を実施した。

当日は郡山市内在住の求職者1名が参加し、小野田社長より事業概要、業務内容、実務の流れ等の説明を受けたのち関係施設等を見学した。今回の職場体験を通して参加者は「トラックドライバーの職務に対する具体的なイメージを掴むことができ、疑問点も解決できた。」と感想を述べ、運送業界入職への意欲を示した。

なお、参加者は免許取得後に本事業に登録している運送事業者とのマッチング等、トラックドライバーとなるために、さらなる就職支援を受けることとなる。

※「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の概要はこちら



❁ 県北支部（蓬田 隆信 支部長）は安全及び社会貢献活動を下記のとおり実施した。❁

## 支部 県北支部が安全大会を開催

2月27日(土)に福島市「ウィル福島 アクティおろしまち」においてドライバーなど130名が参加し安全大会を開催した。安全大会では第一部として、優良従業員表彰が行われ勤続10年以上で無事故・無違反の優良従業員32名が表彰された。第2部では交通事故防止コンサルタント 上西 一美 氏を講師として迎え、「大型トラック重大事故対策」と題した講演を実施、最後に安全宣言を採択し、安全運転及び労災事故防止に向け結束を高めた。

## 支部 県北支部が交通遺児激励金を寄付

二本松市・伊達市・福島市に交通遺児激励金をそれぞれ寄付した。これは2月27日(土)に開催した安全大会の出席者から集めた善意に県北支部からの浄財を加えたもの。

二本松市には3月16日(火)に佐藤 仁 副支部長と齋藤 巧 事務局長が二本松市役所を訪問し、三保 恵一 市長へ10万円を、福島市に3月18日(木)蓬田 隆信 支部長と齋藤 巧 事務局長が福島市役所を訪問し、木幡 浩 市長へ15万円を、伊達市には3月26日(金)に鈴木 勝文 副支部長と齋藤 巧 事務局長が伊達市役所を訪問し、須田 博行 市長へ10万円手渡した。



【木幡市長と蓬田支部長】

## トピックス 自動車安全運転センターが会員事業所を表彰

自動車安全運転センター福島県事務所は優秀安全運転者事業所に対する表彰で、県ト协会会员31事業所を表彰した。プラチナ賞と金賞は警察本部長・安全運転センター理事長連名表彰、銀賞と銅賞は警察本部交通部長・安全運転センター事務局長連名表彰となる。

受賞事業所は下表のとおり。

受賞区分	事業所名	
金賞 (9事業所)	東邦キャリア(株)	川合運輸(株)
	ヤマト運輸(株) いわき北支店(広野・四倉センター)	ヤクルトロジスティクス(株) 福島営業所
	ヤマト運輸(株) 郡山中央支店(郡山山根支店)	大竹運送(株)
	ヤマト運輸(株) 郡山駅前支店(郡山大町センター)	日和田運送(株)
	(株)森藤運輸	
銀賞 (9事業所)	野口運輸(株) 二本松営業所	ヤマト運輸(株) 石川支店(石川センター)
	平共立運送(株)	ヤマト運輸(株) 南会津支店(会津田島支店)
	ヤマト運輸(株) 相馬支店(相馬センター)	ヤマト運輸(株) 猪苗代支店(磐梯高原支店)
	ヤマト運輸(株) 郡山主管支店	(有)水野運送店
	ヤマト運輸(株) 白河支店(白河西郷支店・結城センター)	
銅賞 (13事業所)	磐栄運送(株)	ヤマト運輸(株) 郡山西支店(郡山大槻支店)
	(株)郡山市場配送センター	ヤマト運輸(株) 会津坂下支店(会津坂下中央支店)
	丸浜運輸(株)	ヤマト運輸(株) 喜多方支店(喜多方南支店)
	日化運輸(株)	高運送(株) 福島営業所
	ヤマト運輸(株) 福島西支店(福島成川支店)	川合運輸(株) 矢吹営業所
	ヤマト運輸(株) いわき南支店(植田支店・泉センター)	(有)小瀧運送店
	ヤマト運輸(株) 郡山北支店(郡山富田・八山田センター)	

全ト協  
県ト協

## 令和3年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度のご案内

### ●ドライバー等安全教育訓練助成制度とは？

トラック運送業界においては、ドライバーの安全意識の高揚や安全運転技能の向上が課題となっており、業界を挙げた従業員教育の充実強化への取組みが要請されています。

しかしながら、特に中小事業者においては、安全教育訓練に要する時間やコストの負担は大きいものと考えられます。

本制度は、都道府県トラック協会の会員事業者が、全ト協が指定する研修施設に、自社のトラックドライバー又は安全運転管理者等を派遣し、所定の研修を受講させた場合に、その費用の全部又は一部につき助成を行うものです。

### ●本制度の基本的なしくみ

## 手続きの流れ（フロー）

※下記は標準的な手続きの流れを示したのですが、申請先の協会・研修施設によっては、手続きの内容が若干異なる場合があります。その場合は、申請先の指示に従っていただくようお願いいたします。

### ①都道府県トラック協会への事前確認

研修施設への予約の前に、ご所属の都道府県トラック協会にお問い合わせの上、助成金交付の可否・人数等についてご確認ください。

（※予算の残額によっては、助成金の交付が受けられない場合があります。）

### ②研修施設への研修予約申込み

研修施設に日程等をお問い合わせの上、**研修の予約**を行ってください。

研修施設から提出書類や手続きにつき指示があった場合は、それに従ってください。

また、受講開始日の7日前までに、受講料を納入してください。

### ③都道府県トラック協会への助成金交付申込み

上記②の研修の予約とは別個に、「助成申込書」（様式1）により、ご所属の都道府県トラック協会に**助成金の交付**をお申し込みください。

（※都道府県トラック協会は、研修施設に「助成申込書」を参考として転送します）

### ④研修受講

研修の全カリキュラムを修了してください。

### ⑤都道府県トラック協会への報告書等の提出

ご所属の都道府県トラック協会に、研修終了後7日間以内に、実施報告書（様式2）及び添付書類（修了証、領収書等）をご提出ください。

（※研修施設で記入したアンケートがある場合、これを参加報告書（様式3）に代えることができます）

### ⑥都道府県トラック協会から助成金交付

## ●助成対象研修施設

助成対象となる研修施設は次のとおりです。

# 研修施設一覧

施設区分	都道府県	研修施設	所在地・連絡先
特定研修施設	愛知県	一般社団法人愛知県トラック協会 中部トラック総合研修センター	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21-127 TEL: 0561-36-1010 FAX: 0561-36-1210
	埼玉県	一般社団法人埼玉県トラック協会 埼玉県トラック総合教育センター	埼玉県深谷市黒田2091-1 TEL: 048-584-0055 FAX: 048-584-0090
指定研修施設 (研修所)	茨城県	自動車安全運転センター 安全運転中央研修所	茨城県ひたちなか市新光町605番地16 TEL: 029-265-9560 FAX: 029-265-9552
	滋賀県	クレフィール湖東 交通安全研修所	滋賀県東近江市平柳町22-3 TEL: 0749-45-3872 FAX: 0749-45-3877
指定研修施設 (教習所)	北海道	総合交通教育センター ドライビングアカデミー北海道 ①東地区会場	北海道釧路市芦野5-12-1 TEL: 0154-37-1196 FAX: 0154-37-1178
		総合交通教育センター ドライビングアカデミー北海道 ②西地区会場	苫小牧市拓勇東町8-6-68 TEL: 0144-57-8410 FAX: 0144-57-8410
	青森県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー弘前	青森県弘前市和泉一丁目3-1 TEL: 0172-28-2727 FAX: 0172-28-3382
	宮城県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー宮城 ①東地区会場(石巻中部自動車学校)	宮城県石巻市門脇字浦屋敷124-1 TEL: 0225-94-1285 FAX: 0225-94-1288
		総合交通教育センター ドライビングアカデミー宮城 ②西地区会場(富谷自動車学校)	宮城県富谷市三ノ関膳部沢上11-3 TEL: 022-358-8787 FAX: 022-358-8777
	福島県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー南湖	福島県白河市白坂一里段6-236 TEL: 0248-22-1177 FAX: 0248-22-5453
	群馬県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーぐんま ①前橋自動車教習所	①群馬県前橋市関根町二丁目1番地18 TEL: 027-233-1155 FAX: 027-233-2004
		②かぶら自動車教習所 (1回の研修で両方の教習所を使用)	②群馬県群馬県藤岡市立石1563 TEL: 0274-42-0462 FAX: 0274-42-8280 (お申し込みは①まで)
	千葉県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー千葉	千葉県旭市鎌数5146 TEL: 0479-64-0100 FAX: 0479-64-0102
	神奈川県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー小田原	神奈川県小田原市蓮正寺540-2 TEL: 0465-36-1215 FAX: 0465-37-4603
	岐阜県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー大原	岐阜県多治見市幸町7-29-1 TEL: 0572-27-2356 FAX: 0572-27-2967
	兵庫県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーABOSHI	兵庫県姫路市網干区高田108 TEL: 079-274-1839 FAX: 079-274-2729
	広島県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーテクノ	広島県安芸郡熊野町5640-1 TEL: 082-854-4000 FAX: 082-854-9466
愛媛県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー石原	愛媛県松山市空港通4丁目8-12 TEL: 089-972-1010 FAX: 089-972-1039	
福岡県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーONGA	福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀81-5 TEL: 093-293-2359 FAX: 093-293-2427	
宮崎県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーMIYUKI	宮崎県都城市都北町7333番地 TEL: 0986-38-1001 FAX: 0986-38-0908	

### ★お問い合わせ先

制度の詳しい内容などについては福島県トラック協会(担当:業務部 ☎024-558-7755)へ、または全日本トラック協会ホームページ HOME > 会員の皆様へ > 助成制度 > ドライバー等安全教育訓練促進助成制度(令和3年度)からご確認ください。

県ト協

## ドライバー等安全教育訓練促進助成制度の対象研修施設に ドライビングアカデミー南湖(南湖自動車学校)が追加されました

福島県内初のドライバー等安全教育訓練対象施設となる当校は、(一社)交通安全教育事業協会「ドライビングアカデミージャパン」に加盟し講師の実践的教育を行うなど、実績、教育共に高い水準を持つ研修施設となっている。

昨年度までは全ト協が指定する研修施設が東北管内では2カ所(青森県、宮城県)だった為、当助成事業を利用するには県外の研修施設にて受講する必要があったが、今回の施設追加により県内でもドライバー等安全教育訓練が受講可能となった。

これにより安全教育訓練が受講しやすくなり、ドライバーの安全運転への意識向上が期待される。(研修施設一覧についてはP11参照)

ドライビングアカデミー南湖 研修日程	
【特別研修 一般/初任(3日間)】	【一般研修(1泊2日)】
令和3年 7月16日(金)~18日(日)	一般運転者研修 令和3年 6月12日(土)~13日(日)
	令和3年10月16日(土)~17日(日)
令和3年11月12日(金)~14日(日)	初任運転者研修 令和3年 4月24日(土)~25日(日)

### 【お問い合わせ先】

#### 南湖自動車学校

〒961-0835

福島県白河市白坂一里段6-236

TEL 0248-22-1177 FAX 0248-22-5453



陸 災 防

## 第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催

陸上貨物運送事業の労働災害の70%は、トラック荷台等からの墜落・転落で荷役作業中に発生し、その70%は荷主等(荷主、配送先、元請事業者等)の事業場で発生しています。陸上貨物運送事業の労働災害を減らすには、荷主等の協力が不可欠なため、厚生労働省は「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」を策定しました。

これを踏まえ、陸災防福島県支部は、ガイドラインの周知徹底を目的に2月17日(水)、郡山市福島県トラック協会県中研修センターにおいて、荷主と元請事業場の管理者が参加し「荷役作業安全ガイドライン講習会」(荷主等向け)を開催しました。福島労働局の針生達矢健康安全課長より、“荷役作業における労働災害発生状況と防止対策”の講話を頂き、労働災害撲滅を強く訴えた。続いて、陸災防本部の堀野弘志安全管理士が“荷役作業安全ガイドライン”について解説をし、陸運業の労働災害を減らす上で陸運事業者と荷主との連絡調整が如何に重要かについて説明した。



【福島労働局：針生達矢健康安全課長】

# 守ろう! 交通ルール。 笑顔と思いやりも一緒に。

子供と高齢者を  
始めとする  
歩行者の  
安全の確保

自転車の  
安全利用の  
推進

歩行者等の保護を  
始めとする  
安全運転  
意識の向上

令和3年 4月6日(火) ~ 4月15日(木)  
**春の全国交通安全運動**

4月10日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です



チャイルドシート着用  
推進シンボルマーク  
「カチャビヨン」

全ト協

# 令和3年春の全国交通安全運動

4月6日(火)～15日(木)まで

全日本トラック協会（以下「全ト協」）では、中央交通安全対策会議交通対策本部決定の令和3年春の全国交通安全運動推進要綱、並びに国土交通省策定の同実施計画に基づき、下記のとおり実施項目が定められております。

会員各位におかれまして、実施にあたっては、全国運動重点の「子供と高齢者を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保」、「自転車の安全利用の推進」、及び「歩行者等の保護を始めとする安全運転意識の向上」に留意し、さらに、事業用トラック向けの対策を含めた下記事項について積極的に取り組んでいただけますようお願いいたします。

## 1. 安全運行の確保

会員事業者（運行管理者を含む。以下「事業者等」）は、運転者に対し、次の事項を重点において安全運行の徹底について指導する。特に、事業用トラックによる飲酒運転事故の増加や、事故の過半数を追突事故が占め、かつ、死亡事故の約4割が交差点で発生している現状を踏まえ、下記(1)「飲酒運転の根絶」、(2)「追突事故及び交差点における事故の防止」を最重点推進項目として徹底する。

### 〈最重点推進項目〉

#### (1) 飲酒運転の根絶

飲酒運転の根絶を徹底するため、全ト協制作の「飲酒運転防止対策マニュアル」等を活用し、運転者に対する適切な指導監督を実施するとともに、アルコール検知器を使用した厳正な点呼を実施する。

#### (2) 追突事故及び交差点における事故の防止

事業用トラックにおける事故の半数を占める追突事故及び、事業用トラックが第1当事者となる死亡事故の約4割を占める交差点事故を防止するため、車籍別、車両区分別、道路区分別等詳細に交通事故実態を分析し、交通事故実態に即した事故防止セミナーを全国展開するとともに、運転者への指導・教育を促し、追突事故防止及び交差点における事故防止の徹底を図る。

また、追突事故発生時における被害の軽減に有効な「衝突被害軽減ブレーキ装置」搭載車の普及、及び交差点等における左折事故防止対策の取り組みとして、車載カメラ装着車両の普及を促進する。

### 〈重点推進項目〉

#### (3) 子供と高齢歩行者の交通事故防止

子供と高齢者の傍を通過する際は、十分に速度を落とすなど、思いやりのある運転の励行。

#### (4) 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

夕暮れ時と夜間における歩行中及び自転車乗用中の交通事故を防止するため、前照灯の早めの点灯と、昼間よりも控えめの速度での走行の励行、交差点通過時における車両周辺の歩行者等の安全確認の励行を徹底する。

#### (5) 携帯・スマートフォンの使用禁止の徹底

乗務中の携帯電話による通話やスマートフォンの操作の禁止について徹底を図る。また、横断歩道において歩行者を優先するよう徹底する。

#### (6) 高速道路における事故の防止

高速道路における事故は、高速道路に入り 1 時間以内に多く発生しているため、高速道路に入った後は可能な限り早い段階で休憩をとらせるなど、高速道路における事故防止を徹底する。

#### (7) トレーラ事故の防止

全ト協制作の「トレーラハンドブック」や「鉄鋼輸送に携わるプロ運転者・管理者用ガイドブック」等を活用し、海上コンテナの固定方法や鋼材の固縛方法を再確認し、横転や荷崩れ等のトレーラ事故の防止を図る。

#### (8) 健康起因事故の防止

国土交通省制作の「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」及び全ト協が制作した「トラック事業者のための健康起因事故防止マニュアル（改訂版）」等に基づき、点呼時等において運転者の疲労、睡眠不足の状況等、健康状態の確認を徹底し、体調急変に伴う事故の防止を図る。

#### (9) 過労運転等の防止

事業者は、運転者に、過労運転や睡眠不足が交通事故を引き起こす恐れがあることを理解させ、休憩又は睡眠のための時間及び休息のための時間が十分確保されるよう勤務時間及び乗務時間を定めるとともに、運行管理者に対しては運行経路、運行時間、休憩地点等を含む適切な運行指示書の作成や運行計画、並びに乗務割の作成を行い、点呼時等において運転者の疲労、睡眠不足の状況等、健康状態の確認を徹底するよう指示し、過労運転や睡眠不足による運転の防止に努める。

#### (10) 「WEB版ヒヤリハット集」を活用した安全意識の高揚

全ト協ホームページ上に掲載中の「WEB版ヒヤリハット集」等を活用したKYTを実施し、「だろー運転」から「かもしれない運転」を心掛けるよう徹底を図る。

## 2. 車両の安全性の確保

事業者等は、「自動車点検整備推進運動」及び「不正改造車を排除する運動」を積極的に推進し、大型車の車輪脱落やスペアタイヤ落下による事故等を防止するため、車両の日常点検及び定期点検の確実な実施に努めるとともに、不正改造の防止を徹底する。

## 3. 事故情報等の収集による安全意識の高揚

事業者等は、全ト協ホームページ上に掲載されている「トラックの重大事故にかかる統計データ」や、国土交通省メールマガジン「事業用自動車安全通信」等を活用することにより事業用自動車の重大事故発生状況、事業用自動車に係る各種安全対策等についての情報収集に努め、従業員の安全意識の高揚を図る。

参考 「事業用自動車安全通信」登録用 URL

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/anzenplan2009/mailmagazine.html>

### 4月の行事予定

日程	行事内容	開催場所
14日(水)	女性部会 令和3年度第1回役員会	郡山市「県中研修センター」

## 県ト協 人事異動

次のとおり人事異動がございましたのでお知らせいたします。

発令 4月1日付

役職(旧所属・役職)	氏名	役職(旧所属・役職)	氏名	役職(旧所属・役職)	氏名
総務部次長 (福島復興支援輸送協同組合出向)	ナマタメ ミノル 生田目 実	適正化事業部係長 (福島復興支援輸送協同組合出向)	ヘイシ トモユキ 瓶子 知之	業務部係長 (福島復興支援輸送協同組合出向)	サトウ キヨシ 佐藤 潔志

## 陸災防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学科	講習開催日			
		実 技			
福島②	14(金)	1: 4月26日(月) ~ 4月28日(水)	2: 6(木) ~ 8(土)	3: 11(火) ~ 13(木)	
郡山②	31(月)	1: 6(木) ~ 8(土)	2: 11(火) ~ 13(木)	3: 18(火) ~ 20(木)	4: 24(月) ~ 26(水)
いわき②	21(金)	1: 6(木) ~ 8(土)	2: 11(火) ~ 13(木)	3: 18(火) ~ 20(木)	
会津①	27(木)	3: 18(火) ~ 20(木)	2: 24(月) ~ 26(水)		

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.f-rikusai.org/>

陸災防 福島県支部

## お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は2020年に比べ2021年では発生件数(-5)、死者数(+0)、傷者数(-4)となっている。交通規則を守るとは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

### 第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況(2月末)

		1月	2月	合計	2020年 に比べて の増減数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間合計
2020年 (概数)	発生件数	5	3	8												
	死者数	0	0	0												1
	傷者数	5	3	8												85
2021年 (概数)	発生件数	1	1	3	-5											
	死者数	0	0	0	0											
	傷者数	1	1	4	-4											



トラック広報 わだち4月号(通巻483号)

2021年4月1日発行(毎月1回1日)  
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会  
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731  
H.P <http://fukutora.la37n.com/>

